

■スタンス

リスナーは高校三年生男子。演じていただくのは二歳年下の後輩、音羽美和です。

先輩（リスナー）のことが好きで、受験を頑張って同じ高校に入ります。

中学時代からの先輩後輩であり、距離感は近く、好意を隠さない積極性を持つている美和ですが、付き合いが長いため、どこか冗談っぽくなってしまい本気にしてもらえないのを内心は気にしています。

舞台は入学式。先輩と同じ高校の制服を身にまとった美和が、玄関で待ち伏せしているところから始まります。先輩との登校を楽しみにしていた美和と行く通学路での明るいやり取りが展開していきます。

季節は流れ、卒業式。先輩は、地元を離れ、東京の大学に進学します。学び舎をあとにした彼を校門で待っていたのは美和でした。

今にも泣き出しそうな彼女との、最後の帰り道。

美和は、思いを伝えることができるのでしょうか。

■音羽美和（おとばみわ）

年齢・15歳（入学式時）／16歳（卒業式時）

誕生日・2月16日

身長・151cm（入学式時）／152cm（卒業式時）

体重・44kg（入学式時）／46kg（卒業式時）

スリーサイズ・79-59-82 B(65)（入学式時）

83-59-83 D(65)（卒業式時）

髪型・ショートボブ

性格 明るく澁刺。基本的にいつも元気。先輩とは付き合いが長いため、敬語だが軽口で、常にからかうような態度で接する。先輩への行為は隠さず積極的大が前述のノリもあり、お互いふざけているようなニュアンスが抜けない。すぐに先輩に抱きついたり、挑発するような態度を取るが、本当に尻軽なわけではなく、根は真面目。成績は悪くもないが良くもない。

（※台本中に記載されている立ち位置は左図を参照してください。）

③

⑥④→①⑤ → こちらがマイクになり、矢印の方向が正面になります。

②

■入学式の登校

(【先輩】玄関から出でくる。)

(音羽美和)

(位置..⑤)

(体勢..立ち)

(◇扉を開けて締める音)

美和 先輩！ おはようございます！

(位置..台詞後、⑤→①に移動)

先輩 (え、なに?)

美和 なについて……とりあえず言うことありますよね！

先輩 (あ、おはよう)

美和 お・は・よ・う・ご・ざ・い・ま・す！ それだけですか！？

先輩 (え……なに?)

美和 私、今日入学式なんですけど！！

先輩 (ああ、そっかそっか。おめでとう。)

美和 ありがとうございます！ からのー？

先輩 (え、何の振り?)

美和 ……ホントに気づいてません？ わざと？

先輩 (いや……え?)

美和 せ・い・ふ・く！！ 私の制服の感想！！

今日はじめて見ましたよね！？

先輩 （ああ、そういうこと？）

美和 納得してないで、何か言ってくださいよ～！！

先輩 （いい感じじやん。）

美和 ん～～～！ それだけですか！？

はあ、もういいですそれで。ありがとうございます。

先輩 （てか、なんでいんの？）

美和 え？ なんでって、それ聞きます？

先輩 （制服、見せに来た……？）

美和 制服は見せたかったんですけど！

それだけじゃないです！

先輩 （他にあるの？）

美和 あります！ メインは！ 登校！！

学校、一緒行きましょ！

美和 いいですよね？

先輩 （いいけど、連絡くれればよかつたのに。）

（位置：③）

美和 連絡しても良かつたんですけど……。それじゃサプライズにならないでしょ。

先輩 （する必要なくね？）

美和 ある！ 制服の新鮮な反応がほしかったの！ ……期待してたのと違つたけど。

先輩 （なんかごめん。）

美和 悪いなーって思うなら、言つてくださいよ！

先輩 （え、何を？）

（位置：台詞後、③→①へ移動。）

（【先輩】立ち止まる。）

美和 もう一回！ 制服の感想！

先輩 （…似合つてるよ、すごく。）

美和 ありがとうございます！ それ！

それ最初から言つてほしかつたんですよ～！

（位置：台詞後、①→②へ移動し、先輩の腕に抱きつく想定で。）

（◇腕に抱きつかれた衣擦れの音。）

（オンマイク、小声）

美和 惚れ直しました…？

（オンマイク、終了）

（◇腕を振りほどく衣擦れの音。）

先輩 （最初から惚れてない！）

美和 え～、もしかして照れてます？

（位置：台詞後、②→⑥へ移動。）

（【先輩】先に歩いて行つてしまふ。）

美和 わ、待つてくださいよ～！

(位置：台詞後、⑥→④へ移動。)

(マイクから顔を離し、近づけながら)

美和 待ってってばーー！ もう！

(位置：③。)

先輩 (お前がくだらないこと言うからだよ。)

美和 そうですね、先輩は今さら私に抱きつかれたりしても
ドキドキしないんですもんね？

先輩 (当たり前だろ。)

美和 えーーそんなハッキリ言うー？ ショック！！

先輩 (じやあちょっとドキドキするわ。)

美和 じやあってなんですかー。しかも、ちょっとって。
適當すぎ！ ひどい！

先輩 (お前……朝からテンション高いな……)

美和 先輩、今日なんの日かわかつてます？ 入学式ですよ！
人生で一回だけなんですよ？ テンション高くなるでしょ！

先輩 (もう一回受験したらいいじゃん。)

美和 あーもーすぐにそういうウザいこと言うー！

せっかく頑張って入ったのに、他の学校行くわけないでしょ！

先輩 (そういうやお前、なんで進学校来たの？ 高校出たら就職するんだろ？)

美和 どうですかね。急に気が変わって大学行きたくなるかもだし。

先輩

(お前の親、地元から出してくれないだろ。)

美和

まー、たしかに。親とは戦争しないと大学なんて行けないでしちゃうねー。
それでも、この高校が良かつたんです！

先輩

(……なんで?)

美和

なんでー？ わかつてるくせに。

先輩

(いやわからん)

美和

なんでわかんないのーむしろ！！

先輩と、同じ高校に通いたいって、ずっと言つてたじやん、私。

先輩

(あ……そつか。そうだつたけな……。)

美和

え、急にだまんないでくださいよ！ なんか気まずいじやないですか！

先輩

(お前がいきなりしんみりするからだろ。)

美和

別に変なことは言つてませんし！ ホントのことだし！

先輩

(まあなんにせよ、無事受かってよかつたな。)

美和

はい！ これで晴れて、先輩と登校できますから！

(位置：台詞後、③→①へ移動。)

(【先輩】立ち止まる。)

先輩

(え……)

美和

どうしました？

先輩

(もしかして、毎日俺と登校する気？)

美和 あ、気づいちやいました〜？

(オンマイク、小声、顔を近づけるようなイメージ)

はい、もちろん、毎日お迎えに上がります！

(オンマイク、終了)

先輩 (まじかよ…)

美和 あー！ 思いつきり嫌そうな顔した！ 傷つく！！

先輩 (いや、俺の都合ガン無視じやん！…)

(【先輩】歩き始める。)

(位置..④)

(②側へ顔を回り込ませながら)

美和 先輩好きでしょ？

可愛い幼馴染が毎日迎えに来てくれるようなシチュのゲーム！

(台詞後、④→②へ移動。)

先輩 (嫌いじゃないけど……)

美和 ほら、じゃあいいじやん！

先輩 (幼馴染じゃない)

美和 幼馴染と後輩の違いくらいは、脳内変換でなんとかしてくださいよ、得意でしょ？

先輩 (今、馬鹿にしてるよな?)

美和 あ、お弁当も作ってあげましょうか！

先輩 (マジで?)

美和 え、意外！ 私のお弁当食べたいんですね～？

先輩 （いや、購買代浮くなつて思つて。）

美和 ひどい！！ なに節約に私の愛妻弁当利用しようとしているんですか！？

先輩 （いつから愛妻になつたんだよ……！）

（◇腕に抱きつかれた衣擦れの音。）

（オンマイク、囁き）

美和 あ・な・た……

（オンマイク、終了）

先輩 （おい！）

美和 あはははは～～

先輩 （誰かに見られたらどうすんだよ～！）

美和 私は別に困らないんですけど、先輩困るんです？

先輩 （いじられるだろ？が！ 友達に～！）

美和 友達？ 彼女ではなく？

先輩 （うつせ、いねーよ～！）

美和 あ、いないんですね？

美和 高校デビュー失敗したんですね？

先輩 （うるせーよ～！）

美和 あははは！

先輩 (腹立つわー……)

美和 ……そつか、彼女いないんだ……！

先輩 (ん?)

美和 なんでもないです！

あ、お友達に「俺の嫁だ」って言つてくれていいんですよ？

先輩 (いわねーよ)

美和 えー、お弁当いら niednですか？

先輩 (それはほしい)

美和 お弁当だけほしいとか、めっちゃ現金！！

私のお弁当目当てだったんですね！！

先輩 (体目当てみたいに言うなよ)

美和 え、体目立てだったんですか！？

先輩 (うるせーよまな板)

美和 まな板じやないもーん！ Bあるし！！

先輩 (ないじやん)

美和 これだから二次元好きはーー！

どうせDカップ以下は人権ないと思つてるんでしょ！！

先輩 (二次元好き言うな！)

美和 いいんですか？ そんな態度で！

先輩 (何が)

美和 私、これからFカップになる予定なんですね。

先輩 (そうなつたら態度改めるわ。)

美和 ろこつーー！ 露骨な体目当て！… ひどすぎる！…

先輩 (男なんてそんなもんだろ。)

美和 世の中の男全員道連れにするのやめでもらつていいですか？ そうじやない人もいると思いますよ？

先輩 (どうだらうな。)

美和 つてか先輩、触ったことあるんですか？ ないでしょ？

先輩 (……)

美和 無言は肯定つて本に書いてましたよ？

先輩 (お前がしそつちゅう押し付けてくるだろ、ナイチチ)

美和 は！？ ナイチチじゃないし！！

(位置：台詞後、②→④へ移動。)

(◇背中に抱きつかれた衣擦れの音。)

(オンマイク気味、小声気味)

美和 これでもないって言えますか！

先輩 (お、おい！)

美和 あるつて言え！ 柔らかいって言え～！

先輩 (わかつたつて！ 柔らかい！ すごい柔らかい！)

(オンマイク気味、終了)

(位置…③。)

(オンマイク、囁き)

美和 先輩のえつち

(オンマイク、終了)

先輩 (はあ～！？)

美和 あはははは！ でもホントに柔らかかったでしょ？

先輩 (……)

美和 無言は肯定ですよ？

先輩 (お前な～！)

先輩 まあ、触ってみたくなったら相談してくださいよ。

先輩のために熟慮するので。

先輩 (なんだよ熟慮つて。)

美和 そう簡単に触らせるわけないでしょ！ 私、軽い女じやないの。でも先輩の頼みだつたら考えるので、熟慮です。

先輩 (こんなに抱きつく女が軽くないって。)

美和 誰にでも抱きつくわけじゃないですよ？ 先輩だからですけど。

先輩 (人前では頬むからやめてくれ。)

美和 私、人前で抱きついたことないですよね？ そんな節操なしじゃないでーす。

先輩 (どの口が……)

美和
あ。

(オンマイク、小声。)

美和
（じやあ、人前
　　オンマイク、終了。）

先輩 (あのなあ……)

あーー、まんざらでもなさそうな顔してる！ やつぱりエツチだ！

先輩（おい！）

(位置..③→⑤へ移動。)

(顔を近づけ、遠ざけながら。)

美和
先輩 恕ってます

卷之三

(位置
...
⑤
↓
①
へ移動
)

美和
ごめんなさい。

先輩 (いいよ別に。)

美和

(位置
..
②)

①側を覗き込み、セリフを言いながら顔を②へ移動。)

(◇腕に抱きつかれた衣擦れの音。)

(オンマイク気味、小声ぎみ)

美和 このまま登校したら、付き合ってるって思われるかな?

先輩 (あんなあ……)

美和 入学式からカップルで登校つてヤバくないですか?

怖い先輩に目、つけられちやうかな。

先輩 (いじめられるかもなー。)

美和 そしたら、先輩守ってくれる?

先輩 (お前の自業自得だよな?)

美和 えー、そこは、俺が守るよ、じゃないのー?

先輩 (知らん。)

美和 でも目をつけられるときは先輩も一緒ですよ?

先輩 (俺はハメられたと主張する。)

美和 ひどい! 私を売る気ですね!

先輩 (はいはい。あの角曲がつたら、校門だからな)

美和 ちえー、ここまでかー。はーい。

(オンマイク気味、終了)

先輩 (まつたく……)

美和 確認なんんですけど。明日から迎えに行つてもいいんですよね?

先輩 (はあー……)

美和 めっちゃため息デカイんですけど！

先輩 (いいよ。)

美和 え、ホントに！？

先輩 (ダメって言つても来るだろお前。)

美和 やつたーーー！ あ、お弁当は？

先輩 (ほしい)

美和 素直でよろしいー！ あ、節約した購買代で私に貢いでくれてもいいんですよ？

先輩 (貢ぐかよーーー)

美和 あはははーーー！ あー、楽しみだなー高校生活ーーー！

先輩 (とりあえず、あれだ)

(【先輩】立ち止まる。)

(位置：①)

美和 ん、なんですか？

先輩 (入学おめでとう。これからまたよろしく。)

美和 ……！ はい、ありがとうございます……。こちらこそ、よろしくお願いします！

……あ、私、受付あるんで、先に行きますね！

(位置：台詞後、①→⑤へ移動。)

美和 入学式、寝ないでくださいねーーー！

美和 ……あ。

(位置・台詞後、⑤→①へ移動。)

(顔を遠ざけ、近づけながら)

美和 そうだ、先輩！

(オンマイク、囁き)

美和 今日、一緒に帰りましょうね！

(オンマイク、終了)

美和 ふふふ…！

(位置・台詞後、①→⑤へ移動。)

(顔を近づけ、遠ざけながら)

美和 じゃあ、また放課後―――！

■卒業式の帰り道

(【先輩】校舎を出て歩いてくる、校門で待っている美和を見つけて立ち止まり、近づく。)

(【音羽美和】)

(位置..①)

(体勢..立ち)

(次のセリフを、軽くお辞儀をしながら。)

美和 ご卒業、おめでとうございます。

先輩 (……ありがと。)

美和 お友達はもう大丈夫なんですか？

先輩 (大体。このあと、夜また会うし。)

美和 そうですか。じゃあ、もう帰れます？

先輩 (うん。)

美和 じゃあ。一緒に帰っててくれます？

先輩 (うん。待っててくれたんだろ？)

美和 はい。待ってました。

先輩 (帰ろっか。)

美和 はい……ありがとうございます。

先輩 (なんありがとうございましたよ。)

美和 卒業式だし。もしかしたら一緒に帰れないかもって思ってたから。

だから、ありがとうございます、なんです。

(【先輩】歩き始める。)

(音羽美和)

(位置：③。)

美和 大学合格、おめでとうございます。

先輩 (前も言つてくれたじゃんそれ。)

美和 めでたいことなんだから、何回言つてもいいじゃないですか。

先輩 (あんまり祝福を感じないんだけど。)

美和 そんなことないですよ。ちゃんと、祝福しますよ？

先輩 (ほんとに？)

美和 してますよ……先輩が、行きたいって思つてた大学なんだから。

私がどうこう、言えるわけないじゃないですか。

先輩 (なあ。)

美和 ……なんですか？

先輩 (第二ボタン、いる？)

美和 ……くれるんですか？

ほしいです。ください。

(【先輩】立ち止まる。)

(位置：①)

(◇上着をゴソゴソしているような衣擦れの音。)

先輩 (はい。)

美和 ……ありがとうございます。大事に、します。

先輩 (うん)

先輩から言ってくれるなんて、意外でした。

先輩 (むしろ、真っ先に言われると思ってたけど。)

美和 もちろんほしかったですけど。他にあげる人がいるって言われたら、ショックだなーって思って。それで。

先輩 (らしくないじやん。)

美和 らしくないですかね。はは。

先輩 (……大丈夫?)

美和 それ、聞きます? ……大丈夫なわけ、ないじゃないですか。

先輩 (……)

美和 ……行きましょ?

(【先輩】歩き始める。)

(位置: ②)

美和 あーあ。このまま、家に着かなきやいいのになー。

先輩 (そしたら今日が終わらないのに、つてか?)

美和 そうです。このまま家に着かなかつたら。先輩は東京に行かないし。

ずっと先輩とこうして話してられるのにな、つて。

先輩 (……)

美和 すみません。こんなこと言われても困りますよね。

先輩 (いいよ、別に。)

美和 お家とか、決ましたんですか？

先輩 (うん、大体。)

美和 どこですか？ 渋谷とか？ 池袋？ 新宿？

先輩 (ばーか。そういうところは高いんだよ。)

美和 よかつた。先輩がパリピにならなくて。

先輩 (なんだそれ。)

美和 だって。ここより楽しいところたくさんあるんですよ？

先輩 おしゃれで可愛い女の子もいっぱい。

先輩 (そうとは限らないだろ。)

美和 めっちゃ人がいるんだから。確率は高いと思いますけど？

先輩 (まあ……確かに。)

美和 否定しないんだー。

先輩 (言つたのはお前だろ。)

美和 はいはい、私が言いましたけど。

……それで、どのへんなんですか？ 住むの。

先輩 (多摩川のあたり。神奈川になるのかな。)

美和 え、東京の大学なのに、神奈川に住むんですか？

先輩

(全然近いんだよ。東京寄りだから。)

美和

近いんだ。ふーん。よくわかんないです、東京。

先輩

(なんか、狭いみたいな。)

美和

狭いところにギュッと人と建物が集まつて。窮屈じやないんですかね。わかんないけど。

先輩

(そんな感じはしたけどな。)

美和

……多摩川って、汚いんですかね、やっぱり。神奈川だから綺麗なのかな。

先輩

(こっちの川よりは汚いんじゃない?)

美和

多摩川で、新歓バーベキュー、とかやるんでしょ、先輩も。

先輩

(いや、大学は近くじゃないから。)

美和

大学が近くなくとも。先輩世話焼きだから、家の近くで出来ますよーとか
張り切っちゃうんですよ。どうせ。で、都会の男子は火起こしとか出来ないから
先輩が全部そういうのやつて。女子からキャーキャー言われるんですよ。

先輩

(すげー妄想力だな。)

美和

妄想は得意なんで。

先輩

(調子出でてきたじゃん。)

美和

そんなに元気なさそうに見えました?
たまにはおらしい私もかわいいとか思わないですか?

先輩

(調子狂うよ。)

美和

ふーん。

(◇腕に抱きつかれた衣擦れの音。)

(オンマイク、小声)

美和 やっぱり、こっちのほうがいいですか？ ふふ！

美和 ……今日は、嫌がらないんですね。
……逆に、切なくなるんですけど。

先輩 (……)

美和 先輩のおうち、遊びに行つてもいいですか。

先輩 (遠いぞー。)

美和 飛行機くらい、一人でも乗れます。

先輩 (飛行機代は？)

美和 ……バイトするもん。

先輩がいなくなるから、もう、時間とか、

気にしなくていいし。

先輩 (親は？)

美和 内緒で行きます。

先輩 (俺に口止めさせるわけか。)

美和 口止め料に体でも要求する気ですか？

先輩 (アホ)

美和 アホじやありません。

先輩って欲ないですよねー、童貞のくせに。

先輩 (うつせ)

美和 ……先輩、入学式のときの私の宣言覚えてます？

先輩 （なんだっけ。）

美和 私ね、胸、大きくなつたんですよ？ どれくらいだと思います？

先輩 （……しらん。）

美和 Dです。もうちょっとで、人権ですね。

先輩 （……）

美和 ……先輩の腕、温かいな……。
(オンマイク、終了)

【先輩】立ち止まる。)

(位置：①)

先輩 （……もう、いいのか？）

美和 よくないけど。一旦充電したんで。また足りなくなつたら抱きつくかも。

先輩 （そつか。）

(下を向いて、鼻をすするように息を吸い込んでください。)

先輩 (美和?)

美和 もう一回、言ってください。

先輩 (……美和。)

美和 もう一回。

先輩 (美和。)

美和 ……こんなふうに、先輩に名前を呼んでもらえることもなくなるんですね。

先輩 (……)

美和 ほんとに、最後なんだなあ……。

先輩 (まだすぐは行かないし、東京。また会えるよ。)

美和 でも。一緒に下校できるのは、今日で最後じゃないですか。

先輩と高校生活は。今日で最後じゃないですか。

先輩 (……)

美和 私、高校生じゃない先輩と、どんな顔して会えればいいか、わかんないです。

……なんか、先輩が先輩じゃないみたいで、考えると、怖い……。

先輩 (なんにも、変わらないよ。)

美和 変わらないですかね……。ほんとに?

先輩 (……)

美和 ほんとに、変わらないのかな……。

先輩 (美和。)

美和 ……ごめんなさい、帰んなきやですよね。

(【先輩】歩き始める。)

(位置: ⑥)

美和 先輩。あの。

(位置：台詞後、⑥→④へ移動。)

先輩 (……ん?)

(顔を遠ざけ、近づけながら)

美和 遠回り、してもいいですか。

(位置：台詞後、④→③へ移動。)

先輩 (いいよ。)

美和 ……ありがとうございます。

先輩 (どっか行きたいところあるの？)

美和 ……一緒にいきたいところなんて、ありますぎますよ。
でもあそこでいいです。あの先曲がって、公園。

先輩 (それでいいのか？)

美和 ……あんまり遠く行くと、帰りたくなくなっちゃうから。

先輩 (了解。)

美和 あの公園で、花火したの覚えてます？

先輩 (うん。)

美和 先輩、あのときも私の浴衣、褒めてくれなくて。

入学式のときも、制服なかなか褒めてくれなかつたし。

先輩 (……可愛かつたよ。)

美和 ……今言つても、遅いです。

……遅すぎます。

先輩

(ごめん。)

美和

夏祭り、先輩と行きたかったな。花火も一緒に見たかった。
かわいい水着も買ったのに、見せられなかつたし。

先輩

(写真送つてくれたら良かつたのに。)

美和

Dカップは以下は興味ないんじやないんですか？

先輩

(一回も言つてないだろそんなこと。)

美和

……待受にしてくれるなら、送つてあげますよ。

先輩

(この時期に水着が待受つてヤバいやつだろ。)

美和

じゃあ、あげませーん。

先輩

(なんだそれ)

美和

……お盆とか、帰つてくるんですか？

先輩

(帰つてきたいけど。)

美和

……わかんないですよね。遠いし。飛行機高いし。

それにバイトとか始めて、忙しくなつて、シフトがーとかいい出すんですよ、
きっと。

先輩

(まあ、バイトはしたいけど。)

美和

バイト先の女の子といい感じになつて、付き合うんですよ、それで。
だからバイトのほうが大事になつて、帰つてこないんですけど、先輩は。

(お前、さつきから、そんなんばつかだな。)

美和

……だつて。

これから、一日一日、全然知らない先輩が増えて行くんです。

そのうち、私が先輩と過ごした時間なんて、簡単に超えちゃって。

先輩は東京の人になっちゃうんです。忘れるんです、地元のことなんて。

……私のことだつて。

先輩
(……)

美和
……何も言ってくれないんですね……。

先輩
(暮らしてみないと、わからないよ、それは。)

美和
……そうですよね。わからないですよね、何も。

先輩
(……座る?)

美和
……はい、座りましょっか。

(◇ベンチに座った衣擦れの音。)

(位置
②)

先輩
(毎朝ずっと顔合わせてたんだから、そう簡単に忘れないよ。)

美和
ほんとに忘れません? ……そうだつたらいいな。

先輩
(……)

美和
昨日、親と喧嘩したんです。やっぱり大学行きたいって。
そしたらなんて言つたと思ひます? そんなお金ないーだつて。
知つてるしそんなの。

先輩
(……)

美和
それでも、大学行きたいんです。先輩と同じ。

先輩
(俺ばつか追いかけていいのかよ、お前。)

美和 いいんですよ。だって、他にやりたいこと、ないんだもん。

先輩 (見つかるよ。)

美和 ……追いかけられるの、迷惑ですか？

先輩 (……よくわかんない。)

美和 迷惑かもしない、ってことですよね。

先輩 (そうじやない気もしてる。)

美和 ……ズルいですよ、そういう答え方。

先輩 (でも、本当にやりたいことが見つかるかも知れないだろ。)

美和 ……私の、やりたいことですか？

先輩 (俺のこと、追いかけてる場合じゃなくなるかも知れない。)

美和 ……やりたいことがある人が言うことは、違いますね。

先輩はやりたいことがあるって、そのために選んだ大学に入つて。だから、他のことは二の次ですもんね。

先輩 (まあ、夢が、一番大事ではあるかな。)

美和 ……そういうところが、かつこいいんですよ、先輩は。

先輩 (初めて聞いた気がするけど。)

美和 はい。だって初めて言いましたから。

私も、そういうの見つけたいなって思つたけど。よくわかんないです、まだ。よくわかんないし……。

(少しの間)

美和 ……やっぱ、今のナシで。

先輩 （いいよ、無理に言わなくても。）

美和 ……はい。

先輩、思い残したことないですか？

先輩 （……あんまり、考えてなかつたかも。）

美和 先輩らしいですね。前しか見てない感じ。

先輩 （そうかな。）

美和 ……先輩、結局私に相談しませんでしたね。

先輩 （……何の話？）

美和 入学式の話、覚えてません？

先輩 （……違つたら嫌だから言わない。）

美和 多分、それ当たつてますよ。

先輩 （言わない。）

美和 ……胸、触つてみたくないですか？

先輩 （……いつもお前に押し付けられるだろ。）

（次の台詞、立ち上がりながら）

美和 押し付けられるのと、触るのは別だと思ひますけど！

（位置：②→①へ移動。
姿勢：立ち）

美和 どうします？

先輩 (いや……あのな……)

美和 今だつたら。いいですよ? 熟慮なし即決で。

先輩 (他に言い方ないのかよ……)

美和 先輩……?

(少しの間)

美和 それっ!

(◇座っている状態で、抱きつかれた衣擦れの音。胸に顔が当たっている状態。)

(位置：②)

(以下、泣いているような演技で。鼻をすするような呼吸などを入れて。)
(オンマイク気味、小声めで。)

美和 ふふ……。どうですかーDカップ。柔らかいでしょ。ふふ。

……結構頑張ったんですよ？ 每日豆乳飲んで、筋トレもしたし、なんか、いろいろ、エクササイズみたいの、やつたり。休みの日に、短期のバイトとかして。なんか、胸が大きくなるブラとか、買つたりして。あ、可愛いブラも買ったんです。勝負下着ってやつ。今、してるんですよ？

ふふ、想像してもいいんですよ？ サービス、可愛いんですね。見たいです？ さすがにここじや無理かー残念だなー。ほんと残念ですね。先輩。

1年で2サイズ上がったんだから、あと1年……遅くとも2年待つたら、ほんとに、Fカップになるのにな。絶対、なるのに。

先輩、東京、行っちゃうんだもん。残念ですね、私だったら、触らせてあげたのに。先輩、変わらないって、忘れないって言うけど。

私、知ってるんです。みんな、忘れちやうんです。

新しい生活とか出会いとか、たくさんあるし。忙しくなるし、とにかく、いろいろ。いろいろあるから。先輩は、自分の夢に夢中で、一生懸命で、自分に厳しいから。地元とか、それどころじゃないから。もう帰つてこないんです、きっと。

それで、そんな先輩が素敵だから、Fカップの可愛い子が寄ってきて、先輩、彼女にしちゃうんです。それで童貞卒業するんです。
で、たまに、毎日必死に朝迎えに来る後輩いたなし、弁当作ってくれて、やたらと抱きついてきて、胸小さかつたけど、途中でデカくなつたけど。
ああ、一回くらい触つとけばよかつた、頼んだらヤラせててくれたかもなーとか。
そんなふうに、友だちに話したりして。なんか、全部。思い出になるんです。
私、知ってるんですけど……。

(オンマイク気味、終了。)

(一度先輩から体を離し、もう一度抱きつくような動き。首に腕を回す形の普通の抱きつき。口が、先輩の耳元にある想定。)

(◇抱きつかれた衣擦れの音。)

(オンマイク、囁き)

美和 でも、それでも、いいんです。私、私バカだから。ほんのちょっとの希望に
しがみついて、勉強するんです。親と思いつきり戦争して。絶対説得して。
先輩と同じ大学に受かって、先輩のこと追いかけるんです。
もし彼女が出来てて、がっかりしても、もう私のことなんて忘れてても、
バカだなー私ほんとバカだつて、そのとき絶望してもいい。

いいんです、だって、だって。
……先輩みたいに、やりたいこと、見つけたかったけど。

私、先輩以上に。先輩以上に。

(少しの間)

美和 好きなもの……見つからないんです……。

(少しの間、静かに泣きの演技)

先輩 (……待ってるよ)

美和 ……それ、返事のつもりですか……?

先輩 (……)

美和 ほんとに、ズルいんだよなあ……

私の気持ち、気づいてたくせに。いつもはぐらかして。

釣った魚に餌はやらないタイプですよね? ほんと、ひどい。

ろくでなし。ほんと、ほんとそういうことだぞ、ほんと……。

先輩 (ごめん、根性無しで。)

美和 ……ほんとですよ……根性なし……。

先輩 (うん、ごめん。)

美和 ……本当に、待つてくれます?

先輩 (うん。)

美和 ……その言葉がほんとなら、好き、くらいいってほしいですけど。

一回も、言ってくれたこと、ない。

先輩 （……美和）

美和 いいです。言わないでください。私がFカップになるまで、待つててあげます。

（オンマイク、終了）

（一度、体を話して、先輩の顔を正面に一言発したあと、再度、抱きつく想定。）

美和 先輩……。

（◇抱きつかれた衣擦れの音。）

（オンマイク、囁き）

美和 大好きです……。